

備蓄倉庫・備蓄物資・応急救護設備

備蓄倉庫の整備状況及び備蓄物資、応急救護設備の確保

備蓄倉庫は、延べ床面積にして約62m²(人口1万人あたり)を整備。
また、備蓄物資は、乾パン約1,294食、米約730kg、毛布約430枚、応急救護設備ではテント2.7張、トイレ23.5個(いずれも人口1万人あたり)を確保している。

(備蓄倉庫)	集計値(47都道府県)
整備済み備蓄倉庫箇所数	13,410 施設
整備済み備蓄倉庫延床面積	781,364 m ²
人口1万人あたりの備蓄倉庫延床面積	62.2 m ²

(乾パン)	集計値(47都道府県)
備蓄量合計	16,345,977 人食
人口1万人あたり備蓄量	1294.4 人食/万人

(米)	集計値(47都道府県)
備蓄量合計	9,211,469 kg
人口1万人あたり備蓄量	729.4 kg/万人

(毛布)	集計値(47都道府県)
備蓄量合計	5,424,071 枚
人口1万人あたり備蓄量	429.5 枚/万人

(テント)	集計値(47都道府県)
備蓄量合計	34,634 張
人口1万人あたり備蓄量	2.74 張/万人

(トイレ)	集計値(47都道府県)
備蓄量合計	297,118 個
人口1万人あたり備蓄量	23.53 個/万人

以上すべてH13.4.1現在

【定義】

対象施設：都道府県市区町村、地方公共団体が設置した備蓄倉庫及び備蓄品及び応急仮設テント、災害用トイレ等の応急救護設備
人口1万人はおおむね一小学校区の人口に相当。